

事業用自動車事故調査報告書 概要

～貸切バスの衝突事故(熊本県阿蘇郡南小国町)～

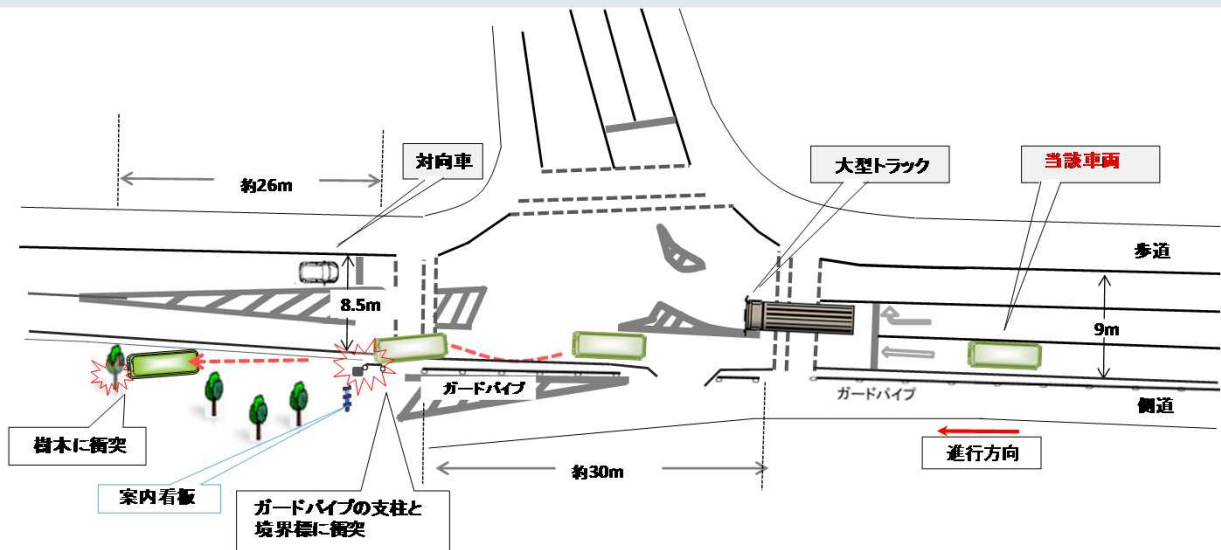
事故概要

平成27年4月22日14時03分頃、熊本県阿蘇郡南小国町の国道212号線において、貸切バスが乗客21名を乗せて走行中、道路左側に設置されたガードパイプの支柱等に衝突、さらに路外に逸脱し樹木に衝突した。

この事故により、貸切バスの乗客3名が重傷を負い、乗客16名が軽傷を負った。



事故状況図



原因

- ・貸切バスの運転者が、**脇見運転**により車両が左側にそれたことから、慌ててハンドル操作することのみで危険回避しようとしたため、起きたものと考えられる。
- ・事業者は、運転者に対し、運行指示書に従って運行することの重要性や、運行指示書に示された**運行経路と異なる経路の運行**をする場合は、運行管理者に報告し運行の安全確保の指示を受けることについて、指導教育を行っていないことが事故の背景にあると考えられる。
- ・運転者が、乗客の**シートベルト**の装着状況を確認していなかったことが、被害を拡大させた可能性が考えられる。

再発防止策

- ★ 事業者は、運転者に対し、運行指示書に従って運行することの重要性を指導教育するとともに、経路の変更を求められた場合には、**運行管理者の指示に基づいて**行われるよう指導教育する。
- ★ 事業者は、ヒヤリハット体験等を活用し、**ハンドルの操作のみで危険回避せず**直ちにブレーキを操作し、停止することなどの実践的教育に積極的に取り組む。